

令和2年度第3回理事会議事録

一般社団法人
静岡県建設コンサルタンツ協会

1. 開催日時 令和2年7月17日(金) 10時15分開会 11時30分閉会

2. 開催場所 協会会議室

3. 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修 齋 秀之

浅岡論志 小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明

監事 杉山 博 小田稔彦

事務局長 石原敏男

(2) 理事会成立の報告

事務局から、理事9名のうち9名(全員)が出席しており、定款第36条に基づき理事会は成立するとの報告がなされた。

(3) 議事録署名人の選任

事務局から、議事録署名人は定款第37条の規定に基づき出席した会長及び監事となる旨を説明するとともに、議事録作成後の記名押印を依頼した。

(4) 会長挨拶

議事に先立ち、森崎会長から挨拶があった。

(5) 議長選出

定款第35条の規定に基づき森崎会長が議長に就任した。

4. 議 事

(1) 令和2年度各部会事業について

- ・ 都市(まちづくり)部会、上・下水道部会の事業では、両部会の共同事業として、令和2年10月22日に「まちづくり講習会(国土交通省下水道部など3講演)」の開催を予定しているとの報告があった。
- ・ 農林・環境部会の事業では、令和2年9月10日に「研修会(静岡県経済産業部農地局など3講演)」の開催を予定しており、協会会員あての開催案内を次週に事務局から行うとの報告があった。
- ・ 土木防災部会の事業では、例年、(一社)静岡県測量業協会との共催で実施していた「災害復旧事業技術研修会」については、新型コロナウイルス

の影響により本年度は中止となったこと、また、県交通基盤部土木防災課より当該研修会に替わる資料提供があったとの報告があった。

- ・ 技術研究部会の事業では、県建設技術監理センターから県土木技術職員研修（橋梁点検・補修設計…初級及び中級、斜面对策）への講師派遣の依頼があり、技術研究部会において講師を選定した上で当該研修会への講師派遣を行うとの報告があった。

(2) R C C M試験対策セミナーについて

総務委員会の事業では、服部副会長から、本年度のR C C M試験は新型コロナウイルスの影響により中止となったが、今後の協会社員の受験に向けた対策として、令和2年7月2日にセミナーを開催し、24名（出席22名、資料提供2名）が参加したとの報告があった。

(3) 静岡県交通基盤部との意見交換会について

県交通基盤部と協会との意見交換会については、新型コロナウイルスの影響により開催時期が未定であったが、木犀会世話人による調整の結果、令和2年10月21日に開催されることとなったとの報告があった。

なお、木犀会で取りまとめた意見交換会テーマ（素案）の概要について森崎会長から説明があり、今後、10月の意見交換会の開催に向けて協会会員からの意見集約等の準備を進めていくこととなった。

また、経済産業部（農地部門）と協会との意見交換会についても、本年度に実施することを確認した。

(4) 国土交通省県内事務所との意見交換会

国土交通省県内7事務所と建設関連業3団体（建設コンサル、測量設計、地質調査）との意見交換会については、本年度も開催する方向で国との日程調整中（国の窓口は静岡国道事務所）であることから、現在、協会会員から国への要望事項等を取りまとめているとの報告があった。

なお、日程調整の進捗状況について、事務局から静岡国道事務所あて確認することとされた。

(5) 木犀会の動向について

木犀会世話人による県出先機関への受注拡大に係るP R活動が、令和2年6月5日～6月11日の間で実施されたこと、また、書面評決による木犀会総会及び世話人会の結果、代表世話人が石野氏から増田氏に変更となったとの報告があった。

(6) 行政機関からの委託業務受注状況について

県通新聞社から提供された資料に基づき直近3年間（平成29年度～令和元年度）の委託業務受注状況を分析すると、国、県、市町ともに県内業者の受注比率が伸びてきており、国、県、市町を合わせた全体では平成29年度の54%が令和元年度には60%となったとの報告があった。

なお、藤山副会長からも、国事業はここ数年若干ではあるが増加してきており、今後、国との繋がりを深めていきたいとの趣旨の発言があった。

(7) 県交通基盤部フォトコンテストについて

県が主催し、協会が共催するコンテストの作品募集が令和2年7月20日から開始されたので、事業のPRやコンテストへの応募に係る協会会員への協力を依頼したこと、また、会長が審査員となる最終審査が令和2年10月2日に開催されるとの報告があった。

(8) 新技術交流イベント in shizuoka 2020の開催について

県の主催による新技術交流イベントが令和2年10月29日に開催される予定であり、建設分野における担い手の確保に繋げるため、協会への積極的な参画の依頼があったとの報告があった。

(9) 報告事項

ア 訃報への対応について

(株)富士和の代表取締役土屋靖司様の御尊父である誠司様が令和2年5月28日にご逝去されたため、協会慶弔等内規に基づき弔慰金及び弔電による対応を行ったとの報告があった。

イ 建通新聞への広告の掲載について

例年実施している「暑中見舞広告」を本年度も掲載することとし、掲載料は83,600円であるとの報告があった。

ウ 役員変更の登記について

令和2年度の役員選任結果を踏まえた法務局への役員変更登記手続きが、令和2年6月19日に完了したとの報告があった。

エ ふじのくに森づくり貢献証書の交付について

協会事務局で「ふじのくに森の町内会『間伐に寄与する紙』」を利用していることに対して、県から貢献証書を交付されたとの報告があった。

カ その他

牧田技術研究部会長から、来年度における技術研究発表会の開催、本年度における協会パンフレット（コンパ）の増刷、来年度における既存の協会パンフレット（コンパ、コンパス）に続く新たな協会パンフレットの作成について、理事会としての方針を示して頂けないかとの提案があった。

このことを受けて理事会において協議した結果、来年度の技術研究発表会については実施する方向で準備に取り掛かって良いこと、発表会の会場は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点にも配慮して事務局で検討することとなり、本年度のコンパの増刷については既に当初事業予算で計上してあるため進めてよいこととなった。

また、新たな協会パンフレットの作成については、160万円程度の事業費を要するため、予算の確保が大きな課題となるが「素案作りの作業」に

は取り掛かっても良いとの方針が示された。

なお、これらの事業予算の確保については、事務局において来年度の事業予算編成の中で検討するとともに、行政機関の補助金活用策についても情報収集に努めることとなった。

議長は、議事運営に対する各理事、監事の協力に謝辞を述べ、第3回理事会を11時30分に閉会した。

以上の議事の経過及び結果を明らかにするため、議事録を作成し、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

令和2年7月17日

議長・代表理事 森崎祐治 ㊟

監事 杉山博 ㊟

監事 小田稔彦 ㊟